

前期基本計画 平成27年度 施策方針書

政 策 : 03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

基本施策 : 02 企業集積と産学官連携の推進

施 策 : 01 inove(イノベ)等への企業集積の促進と産業立地構想の策定

施策担当職・氏名	企業振興課総括主査 木下昇三
-----------------	----------------

1. 施策の実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

	イノベーションパーク及び盛岡西リサーチパークへの企業誘致を促進するとともに、企業数の増加や誘致企業の成長に伴い、集積の加速化に寄与する次期企業誘致構想を策定します。
--	--

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし IPUイノベーションセンター・パークへの立地件数 単位 %	18	20	21	23	25	26	-	
			-	-	-	-	-	0.0	
2	幸福 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合 単位 %	39.5	40.5	42.5	43.5	45	46	-	
			-	-	-	-	-	0.0	
	単位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推移	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	4年後
1	2563 企業誘致事業 誘致企業数 単位 件	目標値	3	4	3	3	3	3	3
		実績	0	0	-	-	-	-	-
2	6283 滝沢市IPUイノベーションセンター管理運営事業 滝沢市IPUイノベーションセンター入居室数 単位 入居室数	目標値	12	15	17	19	21	21	21
		実績	12	15	-	-	-	-	-
3	7409 岩手県立大学周辺産業集積整備事業 岩手県立大学周辺への企業の立地件数(地連・イパ含) 単位 件	目標値	14	15	17	20	22	23	24
		実績	0	0	-	-	-	-	-
4	11452 滝沢市企業立地補助事業 誘致企業数(企業誘致事業目標と同じに設定) 単位 件	目標値	1	4	3	3	3	3	3
		実績	0	0	-	-	-	-	-
5	11854 盛岡西リサーチパーク管理運営事業 盛岡西リサーチパークへの立地企業数 単位 立地企業数(区画数)	目標値	0	18	21	22	22	22	22
		実績	0	20	-	-	-	-	-

前期基本計画 平成27年度 施策方針書

政 策 : 03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

基本施策 : 02 企業集積と産学官連携の推進

施 策 : 01 inove(イノベ)等への企業集積の促進と産業立地構想の策定

施策担当職・氏名 企業振興課総括主査 木下昇三

2. 施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 施策目標の進捗状況分析

盛岡西リサーチパークには、平成24年度2社、平成25年度1社、平成26年度1社進出決定し、現在の分譲率（面積）は85%で、製造業、卸売業、設計コンサルタント、サービス業などの企業が事業を展開しています。

また、滝沢市IPUイノベーションセンターには、平成23年度2社、平成24年度3社、平成25年度4社入居し、更に平成26年の5月には第2イノベーションセンターの開所に合わせ新たに4社が入居。全体として21室中15室に17社が入居しています。

(2) 施策の実現に影響する社会環境変化

経済のグローバル化、日本市場の縮小により日本企業の海外への設備投資が続き、経済回復の兆しが見える中にも国内における組み立てラインの拠点化の動きは継続的に鈍い状況となっています。一方で、日本国内を高度な開発拠点とする動きは、少しずつであるが動きが出てきています。労働力不足は国内企業の大きな課題となっており、これらを背景に地方においては首都圏への若者の流出が続き大きな課題となっています。一方、人材や新しいビジネスの創出の観点から、地方の人材を目的とした企業の地方進出も増加しており、更には、国の地方創生などの動きもありポテンシャルを生かした人材育成や研究開発、更には連携が重要となってきます。

(3) 基本施策との関連性

基本施策である「企業集積と産学官連携の推進」において、本施策は企業集積の計画を示すものであり、盛岡西リサーチパークや滝沢市IPUイノベーションセンターへの企業誘致を推進するとともに、次期企業誘致戦略の策定が必要となっています。

3. 施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

社会環境の変化に記載のとおり今後の地方の生き残りのポイントは人材と考えられます。滝沢市は岩手県立大学を中心とした大学や研究機関の立地があり、人材の先進的研究が大きな強みとなります。これら強みを背景としながら、最大限に生かした企業誘致を今までも続けてきましたが、今後加速度を持たせるため、今まで築いた企業や関係機関とのネットワークを更に充実させ滝沢市IPUイノベーションセンター、盛岡西リサーチパークを中心とした企業の集積を図っていきます。また、集積については、これら強みを更に生かせる集積用地の整備についても検討します。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成27年度の重点課題

継続的な企業への誘致折衝によるinove(イノベ)等への企業集積の促進と立地企業、既存の市内企業が様々な連携により滝沢市に立地して良かったと感じ、集積の効果が波及するためのマッチングや支援を実施します。更には、誘致に第2ステージを効果的に進めるため、企業誘致構想の具体的な検討を進めます。

(3) 基本計画内方針及び平成27年度重点課題に基づく優先順位の考え方

誘致を実施する一方で、立地企業、既存の市内企業が滝沢市に立地して良かったと感じることが更なる、新ビジネスや雇用の創出に繋がると考えており、優先順位の考え方についてもこれらを基本とした企業集積を進めます。

